

8 東員の名花と城跡 (六太駅～東員駅まで探訪)

① 六把野御厨神明社

当神社は寛永14年2月(1637)六把野井水を開かんとして皇大神宮に祈願し、一万度の大麻を受けてこの豊岡の地に氏神として奉鎮した。春・秋の大祭で五穀豊穡・悪魔払いの祈禱のために、奉納される六把野獅子舞は六把野新田に古くから伝わり、平成11年に東員町の無形民俗文化財第1号に指定されている。拝殿と本殿の間には「砲弾」が奉納されているのが見える。昭和の初め、「機雷」や「砲弾」などが「廃兵器」として、軍が無償で民間に教育目的として下付したものである。同じように、めがね橋の近くの下笠田八幡神社にも、青くペイントされた「機雷」と「砲弾」が狛犬のように鎮座している。

② 顔なし地蔵

目も鼻も口もない、ずんべらぼうの顔の板仏である。御厨神明社裏の「どんど」とよばれる山神のところにあったものを移した。目の見えない人には目を、鼻のわるい人には鼻を、口のきけない人には口を与えてしまうと云う、情け深くやさしい地蔵の民話として語り伝えられている。

③ 山田溜公園

3つの溜池を利用して造られた自然公園。上溜には平成10年に東員町指定天然記念物の自生のイヌナシの木があり、モネを思わせるスイレンの池もある。中溜にはシャクヤク・ショウブが植えられ、下溜では魚釣りができ、四季折々に楽しめる公園である。

④ トウインヤエヤマザクラ

自然環境の中で変異したヤエヤマザクラで全国的に見てもヤマザクラの八重は珍しく、花にボリュームがあり、奥ゆかしさを感じる美しさは見ごたえがある。平成8年4月17日、東員町指定天然記念物に指定。

⑤ 笹尾城跡

山田城跡とも言う。中世城館の一つで、中心部の広さは東西81m、南北35mで、当地方では規模の大きい城であった。城主は青木駿河守で、織田信長勢に滅ぼされた。住宅開発のため発掘調査され、その後全面的に破壊された。

⑥ 青木駿河守墓

田圃の中に「笹尾城主青木駿河守平安豊之塚」の石碑が建っている。天正元年(1573)に織田信長に攻められた時に自刃した場所と伝えられる。

⑦ 鳥取神社のイヌナシ

大きな木であり、例年なら4月中ごろに白い花が高さ10メートルほどの頂点から地上すれすれまで咲き誇る姿には、思わず息を止めてしまう見事さだが、今年は早く咲いてしまった。6月には1センチメートルの可愛い実が生る。

⑧ 鳥取塚

濃州道沿いにある塚である。古墳と思われ、石槨の蓋石らしいものがあつたと伝えられる。道路の反対側に古い情緒を残した岩田邸がある。岩田家は鳥取を代表する旧家である。そり見坂の道標を建てた卜齋も岩田家の俳人。

⑨ そり見坂

濃州道の坂道であり、雲雀岡とも言われる。かつては大木道との分岐点であり、そこに道標を兼ねた句碑がある。「右あげきはつた 左大いづみ石ぐれ 道。文化十四丁丑年孟春中旬岐路人惑標石指南。雲いくへ ひばり鳴くなり 楚里見坂 卜齋建立。是より道法 御城下へ二り半 あげきへ同はつたへ同 石南村へ同」とある。平成19年3月付近に交番が出来て、道標も位置をやや変えた。



鳥取神社のイヌナシ